

(1) 第 11 回九州・四国スカンビオカップ（精神障がい者のフットサル大会）

スカンビオとはイタリア語で「交流」を意味しています。イタリアでは、年齢・性別・人種・貧困・家庭環境・障がいなど、あらゆる違いを超えて社会連帯を目指したフットボール文化が認識されており、イタリアでは、1990 年代から精神障がい者の方の症状の安定や社会生活の回復のためにサッカーを治療的に取り入れています。

日本では 2007 年に大阪で「第 1 回スカンビオカップ」が開始されました。「九州・四国スカンビオカップ」については、2008 年から福岡大学のサッカー場で開催されています。今回は 12 施設 13 チーム、総勢約 150 人の選手が参加し、福岡大学医学部精神医学教室が運営に携わっています。

(2) デフ&アンプティサッカー体験・交流会

デフサッカーとは聴覚障がい者のサッカーのことを示し、競技中は補聴器を外すことが義務付けられていることから「音のないサッカー」の愛称で呼ばれています。今回は大会関係者や来場者の方を対象にデフサッカーの体験会・展示会のほか、スカンビオの選手との交流戦（フットサル）を行います。

アンプティサッカーとは上肢または下肢の切断障がい者のサッカーであり、競技中は 2 本の医療用のクラッチを使用します。今回は大会関係者や来場者の方を対象にアンプティサッカーの体験会を行います。